



アスルクラロ沼津

ホームゲームのゴミ袋にリサイクル! エコキャップ回収プロジェクト 1/2

アスルクラロ沼津、第一生命保険株式会社沼津支社、株式会社サティスファクトリーの協働で、ファンやサポーターや地元の企業、学校で集めたペットボトルキャップを、スタジアムで使用するゴミ袋へとリサイクルするプロジェクトを立ち上げました。このゴミ袋は再生材を使用したもので、通常のゴミ袋よりCO2排出の削減が可能なものとなっており、地球温暖化の防止に向けた活動です。ペットボトルキャップはホームゲームを中心に集め、延べ3663名から約19万個も集めることができました。



活動場所 ホームゲーム会場、第一生命沼津支社



協働者

企業、住民、学校、学生、ファン・サポーター

協働者名

第一生命保険株式会社沼津支社、株式会社サティスファクトリー



協働者の声 第一生命保険株式会社沼津支社 / 山崎 康貴 氏



アスルクラロ沼津様と一緒に取り組ませていただくことで、非常に多くのサポーターの皆さんにこのプロジェクトに協力していただくことができました。また、チャレン活動というスキームを利用させていただくことで、地元の企業様とコラボする等、地域の皆さまと一体感を実感できただけでなく、学校等の教育分野にも活動を発展させることもできました。



活動詳細情報

1

[公式サイト①](#)

2

[公式サイト②](#)



カテゴリ (SDGs) / 取り組みテーマ





アスクラロ沼津

ホームゲームのゴミ袋にリサイクル! エコキャップ回収プロジェクト 2/2

Story

第一生命保険株式会社沼津支社では以前よりペットボトルキャップを地域貢献の一環として集めていましたが、集まる個数が少ないことや集めた後の使い道について悩んでいました。そこでホームゲームで多くのサポーターやファンが来場するアスクラロ沼津と廃プラスチックを使用したゴミ袋「FUROSHIKI」を製作・販売している株式会社サティスファクトリーと協働でペットボトルキャップをゴミ袋に再生するプロジェクトを立ち上げました。

この「FUROSHIKI」は再生材を使用している為、一般のゴミ袋に比べCO2の排出量を少なく、他社から切り替えたところ年間で約36.9トンものCO2排出量削減効果があるなど、地球温暖化対策にも役に立つものです。

アスクラロ沼津では2023シーズンからこのプロジェクトで集めたペットボトルキャップを原料として一部使用した「FUROSHIKI」をホームゲーム時のスタジアムで使用する予定となっており、来場者が集めたペットボトルキャップがスタジアムに帰ってくる、循環型のプロジェクトとなっております。

これを一過性の活動として終わらせない為に、回収のための専用の箱を配布し、それに入れて持って来ていただくことで毎試合違うデザインのアスクラロ沼津の缶バッジを配布しました。また、5回お持ちいただくことでサイン入りシャツや限定賞品が当たる企画も行い、たくさんの方に複数回参加いただきました。



更にこの活動が自治体に伝わり、地元の学校で環境問題について考える授業を行うきっかけとなりました。この授業ではリサイクルについてやチャレン!活動についてを学んだり、ペーパークラフトでオリジナルのペットボトルキャップ回収箱の作成を行いました。中にはこの回収箱をホームゲームに持ってこる方もおり、チャレン!活動がホームゲームに直結するいい事例となりました。

2023シーズンにはこのゴミ袋を使うことや他の活動を含めてどれだけのCO2が削減できるかを算出し、脱炭素に向けた活動を視野に入れて、より多くの方々と共に環境問題に取り組んでいきたいです。